



# 住吉小だより

<http://www.fuchu12s.fuchu-tokyo.ed.jp/>

電話042-361-6319

FAX042-334-0873

府中市立住吉小学校  
校長 木下 和紀  
令和6年11月29日  
令和6年度 第9号

## チーム住吉「信頼を得るために」

校長 木下 和紀

11月15日から16日に、学習発表会（秋の住小フェスティバル）が開催されました。たくさんの保護者の皆様、地域の皆様にご鑑賞いただきました。ありがとうございました。子供たちはこの日のために、たくさん練習を重ねて、本番に臨みました。練習の過程では、うまくいわずに悩むこともありましたが、本番ではそれぞれの最高の姿をお見せできたことと確信しています。ご家庭でもたくさん褒めていただいたものと思います。子供たちへの大きな自信になりました。様々な形でご協力いただきありがとうございました。

さて、私は昨年度から「チーム住吉」にこだわって、学校だよりの文章を書いてきました。これは、住吉小学校を「地域の学校」として保護者、地域の皆様にご認識してもらい、住吉小の子供たちを、保護者、地域の皆様とともに育てていくことを推進していく必要があると考えたからです。実際に、地域の方々が様々な形で学校を応援していただいています。スクールコミュニティ協議会の委員として、年間6回程度学校に足を運んでくださり、学校の教育活動にご意見をいただいています。また、朝の読み聞かせや、放課後算数教室にもたくさんの方々にご協力いただいています。その他にも、登下校の見守りをさせていただいたり、花壇の手入れや校内の花瓶を飾っていただいたりしています。日々の生活の中や行事の際には、保護者の方々も様々な形で学校の教育活動にご協力いただいています。このように様々な方々に協力いただくには、学校への「信頼」が重要です。信頼を損なわないように、そして信頼を得るために、学校は保護者や地域の方々から日頃から意見を聞き、修正すべきことは修正してより良いものにしていくようにしています。今までも、下校中に地域の方に児童が迷惑をかけたことからご意見をいただくこともありました。校庭の施設について、改善のご意見をいただくこともありました。地域の学校としての信頼を大切に、いただいたご意見は可能な範囲で対応をしていきますので、何かありましたら校長までご意見をいただければと思います。

住吉小学校では、今年度「教室等の電灯の消し忘れがある」との連絡が地域の方から教育委員会に複数回ありました。学校としては、その都度、教職員で対策を検討し、再発防止に努めてきましたが、11月に再び同様の連絡がありました。学校としては、教育委員会の指導のもと、再発防止の徹底を更に図っていきます。地域の方の信頼を損ねかねない事案に対して、信頼を取り戻せることを目指していきます。

11月20日（水）より、3年2組の体育科担当として、都講師の末弘 南美（すえひろ なみ）が着任いたしましたので、お知らせします。

# 「秋の住小フェスティバル」を終えて

学習発表会委員長 伊藤 美帆

今年度より、学芸会が学習発表会「秋の住小フェスティバル」となり実施されました。児童鑑賞日には、6年ぶりに全校児童が体育館に集まり他学年の演目を鑑賞することができました。また、保護者鑑賞日には各家庭の人数制限がなく、多くの保護者の皆様に鑑賞していただくこともできました。子供たちの日々の練習に励む姿をはじめ、当日緊張しながらも精一杯やりきる姿、他の学年の演目に目を輝かせている姿など様々な姿を見ることができた素敵な行事となりました。

今回の「秋の住小フェスティバル」では、令和4年度に保護者の皆様からいただいたアンケートのご意見をもとに、保護者の皆様にお子さんの姿が観やすいような会場作りと、受付から入場までの流れができるだけスムーズになるよう、教職員で検討してまいりました。今回いただいたご意見を、さらに2年後に生かしていきたいと思えます。保護者の皆様には様々なところでご理解・ご協力いただきありがとうございました。

## 1年生

1年生は、音読劇「むかしばなしがいっぱい」に取り組みました。

セリフを覚え、大きな声で発表できるように練習を重ねました。初めは小さな声しか出せなかった子も、だんだんと大きな声が出せるようになりました。セリフと一緒に動作をつけることもできました。

いよいよ本番。おうちの方々に観ていただけるということで、みんな張り切っていました。教室に戻ってから、みんなに聞いてみると、一番よいできで本番を終えられたようです。

1年生は、みんなで力を合わせ、一つのことをやり遂げたことで大きな自信がついたようです。



## 2年生

♪サルルル ブタタタ カッパッパ 三蔵法師の道連れは〜♪ の音楽がしばらく耳から離れなかったのは、私だけでしょうか？いつでも、どこにいても、つつい歌ってしまう2年生が本番の前にも後にもたくさんいました。

それほど、みんなが楽しんで「そんごくう」という作品に対して、一つになって取り組むことができた証だと思えます。また、大勢の人の前でセリフを言ったり、演技をしたりした経験が、68名の大きな自信につながるきっかけになり、これからの人生を明るく豊かにするものになってほしいと強く思っています。



## 3年生

3年生は、歌唱「おかしなすきな まほう使い〜住小 Ver.〜」、合奏「スーパーカリフラジリスティックエキスパアリドーシャス」を披露しました。お菓子の好きな魔法使いになりきり、「アイスクリーム」「シュークリーム」「アップルパイ」と各クラスで魔法をかけたい

お菓子に合わせ、歌詞を相談して決めていきました。合奏「スーパーカリフラジリスティックエキスパアリドーシャス」では、歌やダンス、ボディーパーカッションにも挑戦しました。合奏では、互いの音を聞いてリズムを合わせたり、曲の強弱を意識したりしながら演奏する姿に3年生の成長を感じることができました。本番が終わり、教室に戻った子供たちには、やり切った自信とみんなで一つのを創り上げる楽しさが、笑顔の中にあふれていました。



## 4年生

4年生は合唱「もみじ」、合奏「ソーラン節（ロック風）」を披露しました。テーマは「日本の伝統」です。子供たちが奏でる「ソーラン節」の合奏は、和太鼓の演奏に始まり、力強くも繊細な音楽は、見る人々を魅了しました。一方、「もみじ」の合唱は、1組と2組でパートを入れ替えて、秋の深まりを感じさせる温かみのあるハーモニーを奏でました。子供たちの一生懸命な姿は、感動的であり、4年生全員の成長を感じることができました。「住小フェスティバル」は、子供たちの自信と協調性を育む貴重な機会となりました。今後も、この素晴らしい経験をもって住吉小の高学年となる準備をしてほしいと思います。



## 5年生

5年生は劇「クラリーナ国の陰謀」に取り組みました。最初は、緊張や不安から台詞が棒読みになったり、動きに自信がなかったりする姿も見られましたが、本番が近づくにつれて変化が現れました。練習を重ねる中で、「仲間」と話し合いながら表現を工夫したり、自主的に台詞や動きを確認し合ったりする姿が増え、本番では気持ちを込めて演技する姿が見られました。子供たちの真剣な表情や堂々とした姿から、大きな成長を感じました。このような経験ができたのは、保護者の皆様の温かい応援のおかげです。心より感謝申し上げます。この経験が子供たちの自信となり、今後の成長につながることを願っております。



## 6年生

6年生は創作劇「ポラリス～夢と希望の物語～」に取り組みました。テーマを「友情・仲間の大切さ」として、9月から台本創りにも取り組んできました。また、6年生として劇に取り組むスローガンを「最高地点へ」に決めて、小学校生活最初で最後の劇を自分たちの力で最高のものにしようと練習を積み重ねてきました。台詞を誰に届けているのかを意識したり、台詞に合った動きを工夫したり、最後の一週間で見違えるほど上達していきました。役者、スタッフが一つになって、大きな舞台を創り上げたことを自信とし、今後の小学校生活に活かしてくれることと思います。



### 【保護者会お知らせ】

2学期末の保護者会を全学年実施いたします。保護者の皆様の参加をお待ちしています。

日付	学年	時間	会場
12月9日(月)	5年・6年	14:30~15:10	各教室
	3年	15:20~16:00	ランチルーム
12月10日(火)	2年・4年	14:30~15:10	各教室
	1年	15:20~16:00	